

【事業者向け】 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制	1	職員の配置数は適切であるか	11	2	0	
	2	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	0	0	段差が少なく転び難いようになっている
業務改善	3	業務改善のための目標設定や振り返りに、広く職員が参画しているか	12	1	0	
	4	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	1	0	
適切な支援の提供	5	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画書を作成し、計画に沿った支援が行われているか	13	0	0	
	6	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	0	0	前回利用の様子から注意すべきことを反映した支援ができています
	7	定期的に、職員間で打ち合わせを行い、行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	13	0	0	当日の様子を見て不審な点や気付いた点はすぐに共有している
	8	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13	0	0	細かく様子を記録し、支援の改善に繋がるようにしている。
	9	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	13	0	0	
関係機関や保護者との連携	10	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11	2	0	
	11	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	13	0	0	
	12	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	11	2	0	
	13	医療的ケア児を受け入れる場合は、必要に応じて子どもの主治医と連絡体制を整えているか	10	3	0	
	14	保育所や認定こども園、幼稚園、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11	2	0	

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
	15	障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	5	0	障害のない子どもの他にも、高齢者や障がい者等、広く関わるができる。
	16	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13	0	0	保護者がお迎えに来られた場合などに、伝達できる。
保護者への説明責任など	17	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	13	0	0	
	18	必要に応じて保護者からの子育ての悩み等に対する相談を受け、必要な助言や支援を行ったり、保護者同士の連携を支援しているか	10	3	0	子育ての悩みはもちろん、多種多様な悩みに対応できる体制がある。
	19	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	0	0	
	20	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13	0	0	会報「ひらすま新聞」を発行している1回/2ヶ月
	21	個人情報に十分注意しているか	13	0	0	
	22	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13	0	0	
	23	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか	12	1	0	
非常時	24	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	2	0	
	25	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	13	0	0	利用前の面談などで、持病や家庭での様子をフェースシートを用いて聞き取り、利用前に、職員間で共有するミーティングを設けている。
	26	食物アレルギーのある子どもについて、適切に対応がされているか	13	0	0	
	27	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	13	0	0	毎日のミーティングや情報共有ノートを介して、ヒヤリハット内容を共有している。